

第 23 回種子島ロケットコンテスト大会技術発表会開催要領

1. 日時・場所

日時:2027年3月5日(金) 9時30分~17時00分

場所:ロケット部門 福祉センター 大ホール / CanSat 部門 農業者トレーニングセンター

2. 発表要領

● 発表内容

各チームで製作した機体について、ミッション、設計、創意工夫、製作過程における苦労・失敗談などを中心にして説明を行う

● 発表形式

審査員や参加者の前で発表する形式(登壇方式)

「次発表者席」に、ひとつ前のチームの発表が始まったら着席し、待機すること。

● 発表時間

【ロケット部門(種目番号1・2・3・4)に参加するチーム】

1チーム当たりの持ち時間は6分(発表:4分/質疑応答:2分)

【CanSat 部門(種目番号5・6・7)に参加するチーム】

1チーム当たりの持ち時間は6分(発表:4分/質疑応答:2分)

● 発表のながれ

1. 司会がプログラムに沿って所属、チーム名を読み上げる。
2. 読み上げ直後から時間の計測を開始
3. 残り1分で、呼び鈴を1回鳴らし、持ち時間終了時に呼び鈴を2回鳴らす。
※2回目の呼び鈴を鳴らした後も発表を続けると、減点の対象
4. 質疑応答時間が終了すると、呼び鈴を3回鳴らすので、次発表者に速やかに交代をする

(例)司会:「〇〇大学、〇〇チーム発表をお願いします。」

計測開始→残り発表時間1分(呼び鈴1回)→発表時間終了(呼び鈴2回)→質疑応答開始

→質疑応答時間終了(呼び鈴を3回)→次発表者に交代

● 準備機材

会場では、以下のものを準備する:

液晶プロジェクタ / 接続ケーブル(HDMI) / PC 用 AC 電源 / レーザーポインタ

発表者は次のものを準備すること:

ノート PC / 外部出力接続アダプタ(HDMI)

注意事項

1. パソコン画面の外部映像出力への切替方法は、使用するパソコンのマニュアル等により事前に必ず確認をすること
2. パソコンの接続・モニタ切替・操作等はすべて発表者側で行うこと
3. パソコンの起動(あるいはスリープ状態の解除)前に液晶プロジェクタと接続しておかないと映像出力が認識されない機種(Mac OS 機の一部等)があるため、**必ず事前に操作方法を確認すること**
4. パソコンのトラブルによる発表時間の延長は認めない
5. スピーカー等による音声の接続は行わない
6. 発表中にパソコンの画面が消えないよう電源や省電力機能の設定を事前に確認しておくこと

- 依頼事項

- ・スクリーンのサイズに限りがあるため、文字サイズを大きくするなど、見やすい工夫をすること。
- ・次発表チームは、前のチームの発表が終わる前までに次発表者席にて待機すること。
- ・発表終了後は速やかにノート PC を撤収すること。

3. 審査方法

審査は当実行委員会が依頼する審査員が行う。

事前提出書類および当日のプレゼン内容から、下記の項目を中心に点数制で評価を行う。

気象条件等により競技が実施できない場合は、技術発表会の評価を基に各競技の順位を決定する。

【技術評価】(6項目)

- ・アイデアが独創的であるか
- ・設計が妥当であるか
- ・安全に配慮した設計であるか(墜落や紛失の対策を含む)
- ・技術的に高度なことにチャレンジしているか
- ・製作は丁寧にできているか
- ・試験は十分に行っているか

【プレゼン評価】(4項目)

- ・発表態度(声の大きさ。聴衆に向かって話す。)
- ・わかりやすく説明しているか
- ・発表は時間内か
- ・質疑には適切に答えられたか

4. 審査員

審査員は技術専門家で構成する。今後調整を行い、審査員を決定する。